

# 帯の幅ほどある町

古くは継体天皇の母・振媛が生まれた地として、室町時代には「三津七湊」の一つとして、江戸時代から明治にかけては、北前船の寄港地として、日本海へとそそぐ九頭竜川沿いに細長く横たわるこの町は、昔から日本有数の湊町として栄えてきた。

井原西鶴に「北国にまれな色里」と言わしめたほど格式の高い花街があり、芝居小屋や宿屋が賑わいをみせていた、歴史ある湊町。活気に満ちていた商人・職人文化の面影は、いまも私たちを楽しませてくれる。

「かぐら建て」の古い町屋や、軒下に敷かたの漆喰を有、レトロな雰囲気漂う旧森田銀行本店や旧岸名邸などの歴史的建造物。

北陸三大祭の一つとして今に残る三国祭。

小径へと二歩足を踏み入れれば、色濃く息づく歴史文化を肌で感じることもできるだろう。

そんな湊町の風情は、多くの文芸人を惹き付けた。

昭和を代表する詩人・三好達治も、その一人。

彼が三国で過ごした5年間、たくさんの文人や作家が訪れ、そこから世界へと数々の名作が生まれている。

また、近松門左衛門が作った歌舞伎の最高傑作「けいせい仏の舞」の舞台も、ジャンクアートの巨匠・小野忠弘が作品を発表した場所も、三国湊だった。

作家・高見順や、三国の遊女であり、越前を代表する女流俳人・哥川（かせん）らを生んだ三国湊は、

いつの時代も「文学の町として」華やいできたのである。

昭和を代表する詩人の三好達治が、この町で5年間過ごしたうちに、たくさんの作家が訪れて名作を残したんだよね。三国は作家の高見順、遊女で女流俳人の哥川を生んだ文学のふるさとなんだ。

本当に食文化が豊かな福井。お年寄りの方も大きな口をあけて三国バーガー食べてくださるの。色んな人がやってきて、楽しい話を届けてくれるし、いい町だと思うなあ。



MIKUNI BURGER



FUKUI MIKUNI MINATO

生まれも育ちも三国湊だし、ボランティアガイドをやって6年になるけど、言葉にできないのはこの町の風情。汲みつくせない魅力があるんだ。



三国の森には、かつていくつもの山路が走り海の声がきこえていたという。

緑したたる木立ちに見える黄金さす海は生命の生まれ、帰るところ。息づく文化は自然とともにあった。

三国沖に浮かぶ雄島には、今も原生林が残っている。かつて海民たちに神の島と崇められていたこの島は今も昔も航海の灯を照らし、海を生きる人々にとってなくてはならない存在だ。

やっぱり海だね。漁をしなくても、見れば入りたくなるし、何より楽しいもん。



# 海のこえする山の路